法務省 MINISTRY OF JUSTICE

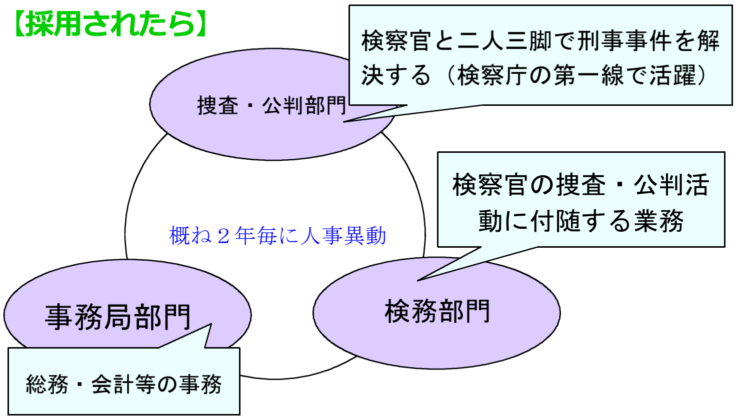
那覇地方検察庁ガイド

那覇地方検察庁 Naha District Public Prosecutors Office

【検察事務官はこんな仕事をしています】

検察庁は、犯罪を捜査し、刑事事件に関し裁判所に対して裁判を求め（起訴）、裁判所に法の正当な適用を請求し、かつ、懲役刑や罰金刑などの裁判の執行を監督しています。この役割は主に検察官が担っていますが、検察事務官もそのパートナーとして、また、縁の下の力持ちとして様々な場面で活躍しています。

【採用されたら】



法務省や県外の検察庁で勤務することもできます！

法務省
（旧本館：通称赤レンガ棟）

最高検察庁

福岡高等（地方）検察庁

※写真は各ＨＰより引用

【採用状況・対象試験区分】※R6.4.1採用予定者を含む　※( )は女性で内数

直近採用状況（対象試験区分は国家公務員一般職試験（大卒程度・高卒者試験））

- ２０２０年度国家一般職（大卒程度）行政沖縄　４（１）名
- ２０２１年度国家一般職（大卒程度）行政沖縄　３（２）名、（高卒者）事務沖縄　２名
- ２０２２年度国家一般職（大卒程度）行政沖縄　１名、（高卒者）事務沖縄　２（２）名
- ２０２３年度国家一般職（大卒程度）行政沖縄　２（１）名、（高卒者）事務沖縄　２名

【職場の魅力・*PR*】

検察庁は、国民の権利利益に直接影響を及ぼすような強力な公権力を行使する国家機関ですので、その責任は重大ですが、その反面、やりがいもとても大きなものとなります。

専門性の高い業務を担うことから、研修制度も充実しており、法律を勉強したことがない方でも、採用後、業務に必要な知識などを学べる機会が十分にあります。

また、職員間でフォローし合い、一致団結して業務を遂行する職場環境となっており、業務外でも、テニスやバドミントンなどのサークル活動もあり、職員同士の親睦が活発に図られています。

【先輩からのメッセージ】

私は現在、検務部門で事件事務を担当しています。

事件事務の内容として、主に警察署から送致されてくる様々な事件の受理や、捜査の終了した事件の処理等にも携わっています。受理した事件が実際に報道されるという事も多々あり、採用１年目から自分自身がこの事件に携わっている、という強い責任感を持って務めることができるのも、検察庁の魅力の１つだと実感しています。

ところで、検察庁というと、「近寄りがたい、堅い。」といった印象を持つ方も少なからずいると思います。私もその内の１人でした。

また、私は高卒採用者で法律などの知識もないに等しく、本当に検察庁職員としてやっていけるのか不安でした。しかし実際入庁してみると、業務でわからないことがあれば年齢関係なく周りの先輩職員がわかりやすく教えてくれたり、「困ったときはいつでも聞いてね。」と気軽に声をかけて頂いたり、日々新しい知識を学び吸収できるとても雰囲気の良い職場だと思います。さらに、高卒採用の先輩職員の方も多く活躍していて、より頑張ろうと思える職場だと思います。少しでも興味がある方は、ぜひ業務説明会に参加してみてください。

（２０２２年度一般職（高卒程度）　事務沖縄採用）

１日のスケジュール

８：３０	業務開始・スケジュール把握
９：００	裁判所への記録の受け渡し 事件記録の点検・受理
１１：００	事件の受理登録
１２：００	お昼休み
１３：００	事件の処理登録 裁判所等への記録の受け渡し 関係書類を担当検察官へ引継
１７：００	残務整理
１７：１５	業務終了

＜連絡先＞　〒900-8578　那覇市樋川１丁目１５番１５号　那覇第一地方合同庁舎
那覇地方検察庁　事務局総務課　人事係　　（直通）TEL098-835-9212

・・・詳細につきましては　検察庁のホームページへ　（ＱＲコードはこちら）→